



# つぎのいっぽん

地域力、福祉力、市民力 チカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる～市民が主体の地域づくりを!

## 2024年度の取り組み—積み重ねから新たな一歩へ—

今年度は継続実施している事業に加え、習志野市のプロボノ事業や千葉県地域ボランティア活動環境整備事業など新たな事業でボランティアの参加を促し、市民が主体の地域づくり支援をさらに進めていきます。



### ●四街道市みんなで地域づくりセンター運営 (四街道市受託)

地域づくりコーディネート業務を担い、みんなで地域づくりセミナー、みんなでつくる四街道マップ、子ども支援や災害支援等のネットワークづくりを実施。協働事業提案制度「コラボ四街道」の申請と採択後の支援に重点を置き、地域課題の解決に向けた取り組みを生み出します。

### ●八街市協働のまちづくりコーディネーター育成 (八街市受託)

協働のまちづくり PiT のコーディネーター会議の運営をサポートし、ニュースレター、メルマガの発行や地域づくり団体のネットワークを構築します。区・自治会、地域づくり団体が参加する「八街のいいね!を語る会」や「地域力向上スクール」の企画運営、修了者への情報提供や交流会を開催します。

### ●ちばし地域づくり大学校企画運営 (千葉市受託)

働く世代や学生、シニアが地域づくりや福祉活動、自治会活動への理解を深め、地域活動参加のきっかけとなるような学びや出会いの場を提供。市内 NPO や支援機関などと連携しながら地域人材の育成を支援します。

### ●NPO 運営相談、講座企画、講師派遣

団体運営に関わる相談を電話、メール、対面で常時受付。千葉県市民活動団体マネジメント事業として、事務力向上や団体運営に関する講座を企画開催(千葉県受託)。また、行政と連携・協働し市民活動参加促進の講座を企画、講師を派遣。

### ●福島県県外避難者支援、相談事業 (福島県受託)

福島県から千葉県に避難している方たち(1,395名)への情報提供、相談対応、訪問を行い、地域に出向き交流会を開催。孤立を防ぎ、避難者同士が日常的に連絡、交流できるような「つながりづくり」を進めます。その他、他団体の交流会に参加することでつながりを広げていきます。

## 市民活動支援

## 地域づくりのコーディネート

## 被災者支援

### ●多世代交流拠点「おなみこなみ」運営

地域の居場所として多様なプログラムを開催。青空市、健康体操、まちの談話室、シニア英会話、検見川歴史講座、あみものサークルなどでシニアの交流を促すとともに、子育てママの息抜きの場となるなど、多様な世代の利活用を進めます。



## 令和6年度ちばし地域づくり大学校受講生 募集中!

地域福祉活動やボランティア活動の担い手、地域のリーダーとして活躍できるよう講座や実地体験を通じて学ぶ方を募集します。

【申込期間】7/1(月)～8/18(日) 郵送の場合は必着

【会場】主に千葉市役所、一部、千葉市民会館、幕張公民館など各クラス指定会場。オンラインクラスもあり

【受講料】無料

【主催】千葉市 【問合せ・企画運営】NPOクラブ



詳しくは特設ホームページをご覧ください!

## 千葉県市民活動団体マネジメント講座開催!

随時、申込開始します。詳細はブログにてお知らせします。

日程	開催方法	講座名	講師	定員
1 9/14(土)PM	対面、Zoom併用	団体の未来をつくる事業戦略づくり～人材育成と担い手確保のために～	松本祐一さん(NPOサポートセンター代表理事)	30名
2 10/17(木)PM	Zoom	ばっちり習得NPOの労務	石井敏則さん(社労士)	30名
3 11/6(水)PM	対面、Zoom併用	演習でじっくり習得 NPOの日常会計処理	加藤達郎さん(税理士)	30名
4 11/20(水)PM	対面、Zoom併用	ばっちり習得NPOの年度末会計処理と事業報告書作成	脇坂誠也さん(税理士)	30名



ブログ→

※講座日程や開催内容は、変更になる場合があります。

【受講料】無料 【主催】千葉県 【問合せ・企画運営】NPOクラブ

## 「プロボノ」に関心のある社会人を募集します!

### 「ならしのプロボノチャレンジ2024」(令和6年度習志野市市民協働型委託事業)

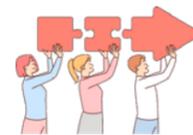
仕事や生活のなかで得た経験やスキルを活かすボランティア「プロボノ」。今年度は習志野市を拠点とする市民活動団体を支援します。チームで取り組む約3ヶ月間限定のプロジェクト型のプロボノです。まずは説明会にご参加ください。

【募集対象】習志野市内に在住・在勤の社会人の方 20名程度(他市町村からの参加も可。プロボノ参加の定員を超えた場合は市内の方を優先)

【社会人ボランティア募集説明会】

第1回:8/10(土)10:00～11:30 プラッツ習志野 第2回:8/23(金)19:30～21:00 Zoom開催

【問合せ・企画運営】NPOクラブ 説明会のお申込みなど詳しくはこちら→



## 千葉県地域ボランティア活動環境整備事業を実施!

ボランティア活動に興味のある方が実際に地域活動へ取り組むきっかけがもてるように、ボランティア受入団体の説明会や体験会の開催をサービスgrantと共に取り組んでいます。また、ボランティアを受け入れる際の団体が抱える課題を一緒に考え解決していく伴走支援も行っています。(千葉県主催)



### NPOクラブの活動を支える 賛同会費・寄付 ご協力をお願い

年会費1口:団体会員5,000円、個人会員3,000円 寄付1口:3,000円

(NPOクラブは認定NPO法人です。賛同会費・寄付は税制優遇の対象となります。)

＜編集・発行＞ 特定非営利活動法人(認定NPO法人)ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)

〒261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂5-21-12 TEL 043-303-1688 FAX 043-303-1689

Mail: npo-club@par.odn.ne.jp URL: https://npoclub.com

ブログ: http://blog.canpan.info/npoclub1

Facebook「NPOクラブ」で検索 X「X NPOクラブ」で検索

・運営会員 21名 賛同会員 102名 発行 900部 会員・県内市民活動支援センター・自治体等にお届けしています。



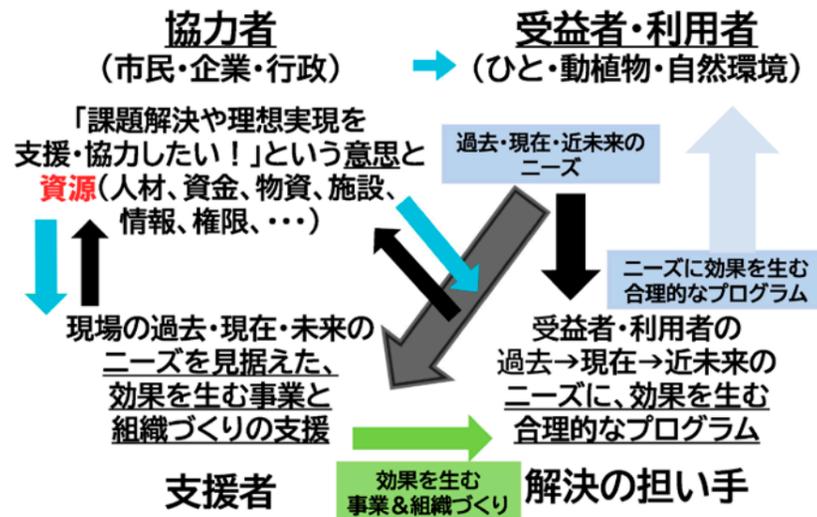
## 2030年代の千葉の暮らしを支える活動を支援するために — 支援者に求められる視野と機能 —

合計特殊出生率(1人の女性が産む子どもの数の指標となる出生率)が1.20となったとの厚生労働省からの発表に、そこまで来たかと思った人が多かったのではないのでしょうか。「超高齢化社会」を迎え、私たちの暮らしはどう変化し、どういった対応が必要なのか、IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者の川北秀人さんを講師に迎え、講演会を開催しました。



### 〈川北さんの講演資料からの抜粋〉

○担い手は「1歩先の視野・半歩先のプログラム」支援者は「2歩先の視野・1歩先のプログラム」を持ちたい



- ・地域・社会の課題・理想は把握しているか? (このままだと、地域・地域はなるか? ほんとうは、どうありたいか?)
- ・課題の原因・背景は理解しているか?
- ・課題解決のプロセスは見えているか? (どんな団体を、どれだけ、どう育てるか?)
- ・地域・社会の資源を巻き込んでいるか?
- ・合理的な見通し+計画を伝えているか?
- ・進捗=途中の成果も伝えているか?

○「これから」は「これまで」の延長線上ではない

- ・「2つの高齢化」の深刻化
- ・人の高齢化は、第2幕に：人口減+小家族化も進行  
前期高齢者(=まちづくりの主演)減⇔(要介護度高い)85歳以上増  
生産年齢人口2000年→40年で3割減⇔85歳以上：3倍増  
単身世帯率：2000年27%→2020年35%→2040年38%?  
+女性(特に30・40歳代)の就業率 大幅改善
- ・インフラ・ハコモノ更新の本格化→全部は不可能  
法定耐用年数(50年)を経過するインフラの比率  
橋 2013年18%→2023年43%→2033年67%、トンネル20%→34%→50%  
水道66万km 法定40年経過12%⇔更新0.7%!  
「130年かかると想定」
- ・自治体は業務増⇔職員減  
市区町村：2005年→15年で歳出15%増・職員14%減=負担29%増  
→**くらし方も社会環境も変化しているのに、行政の仕事の仕方が進化なし：前例踏襲・国主導・高齢者の言いなりで済むはずがない**

○2030年の千葉県は?

- ・高齢者率は?→27.6%(全国より5年遅いだけ)
- ・75歳以上は?→87.7万人(市民7人に1人)!  
ヘルパーなど、福祉の担い手は、あとどれだけ必要? 社会保障(医療・介護)費は、いくら増える?  
→ **高齢者の健康=地域の資源+資産!**
- ・生産人口は?→10年比2%減⇔後期高齢者100%増  
県税収入は確実に減少する
- ・既存インフラの補修・更新コストは?
- ・道、橋、公営住宅、上下水道、施設・公園、どれだけ残す?  
→ **人件費・扶助費・公債費に次ぐ「第4の義務的経費」**
- ・県債残高は? 利息は1日いくら?
- ・消費税は、いくら必要?

○2020年の千葉県が「100人の自治会」だったら

	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年
あなたの年齢					
計	94	99	100	98	95
0-14歳	13	13	12	10	10
15-64歳	67	64	61	60	53
65歳以上	13	21	28	29	32
65-74歳	8	12	14	17	15
75歳以上	5	9	14	18	17
85歳以上	3	2	4	6	8
一般世帯数	35	40	44	45	44
(うち独居)	(9)	(12)	(16)	(18)	(18)
世帯あたり	2.73	2.47	2.27	2.17	2.13

【出典】2000年から2020年までの実績：国勢調査  
2030年から2040年までの推計：人口については国立社会保障・人口問題研究所  
世帯(世帯数、独居、世帯当たり人口)はIIHOE

○千葉県の人口・世帯構成の特徴

- ①人口の総数・生産年齢の減少が本格化  
+高齢者率は全国平均より5年遅いだけ  
・前期高齢者も団塊jrを除き減、85歳以上は倍増  
・世帯数も減少へ、独居4割超、地域の役員は負担3倍に  
→ **見直さないと負担過重 行事・会議は重ねる&間引く**
- ②残存率：10歳未満&30代-80代 高い  
⇔60歳前後の女性 直近10年間低め  
→ **若者&女性の気持ちと力を活かす地域づくりを!**
- ③後期高齢者のみ世帯は10軒に1軒→7軒に1軒に  
+後期高齢者独居率も増加傾向  
→ **健康づくり・福祉・防災・生活支援は一体で!**

○市民活動支援センター=病院

- ・教える・場を与えるのではなく、相手と社会の課題を解決し、理想を実現する
- ・求められる基本的な機能は
- ・緊急救命(ER)
- ・治療
- ・予後(+健康増進)
- ・予防：予防研究、予防広報、予防行動
- ・身近にかかりつけの診療所、広域で総合病院
- ・来訪者だけが利用者ではなく、本当に必要な人のもとに「往診」する!

○「支援」とは(支援センターが持つべき7つのチカラ)

- ・相談対応力
- ・調査・情報収集力
- ・編集・発信力
- ・コーディネート/ネットワーク力
- ・資源提供力(人材、物品、資金)
- ・内部の人材育成力(スタッフ、理事)
- ・政策提言力

〈対策の有効性を高めるために〉

- ・原因・背景の理解
- ・解決実践への踏み込み
- ・事例の収集
- (支援先の理事になれるか?)

川北さんの講演をお聞きして

人とのつながりづくりが大事という言葉をよく聞きます。それだけ、つながりの薄い社会に私たちは暮らしているということでしょうか。高齢化、婚姻率の低下が顕著となれば、独居世帯は確実に増加します。「安心して暮らせる地域づくり」をどう進めるか、皆が当事者です。考えを寄せ、動かなければならない時ではないでしょうか。